

| | | | |
|---|-----------------------------------|-----|---------------------------|
| 第9回 観音寺市民会館等建設検討委員会会議録【要約】 | | 日 時 | 平成24年10月3日(水) 19:00~21:30 |
| | | 場 所 | 観音寺市民会館第4会議室 |
| 出席者 | 委員13名(欠席2名)、事務局8名、(株)日建設計大阪オフィス5名 | | |
| 議題 | 1 第8回検討委員会 会議録の確認について | | |
| | 2 配置・施設構成について | | |
| | 3 その他 | | |
| <p>1 開会 開会あいさつ</p> <p>2 委員長あいさつ 委員長あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 第8回検討委員会 会議録の確認について 会議録【要約】の発言の趣旨等を確認してもらい、委員の承認を得た。</p> <p>(2) 配置・施設構成について</p> <p>①敷地内全体構成についての意見</p> <p>ア) 【委員質問】 大ホールへの荷物搬入だが、どのような動線になるのか？ 【設計者回答】 建物の南側を通り、利用者駐車場から進入するようになる。体育館の北側は、非常に狭くトラックの通行は難しい。 【委員意見】 来館者とトラックの動線と重なってしまう。前日から準備しトラックを据え置き、来館者が帰った後でトラックが動き出すには問題は無いが、市民音楽祭などは、トラックの出入りが激しいので動線が重なるのは良くない。 ホールの配置により、搬入経路などすべての動線が決まってしまう。 【設計者意見】 搬入の動線を考慮し、ホールのお尻を東側でなく南側にするなど配置を検討はしたが、搬入の動線を優先すると駐車可能台数が大きく減ってしまう。今の配置のまま搬入専用道路を整備することは可能だが、そうすると搬入専用道路部分の駐車台数が減ってしまう。</p> <p>イ) 【委員質問】 東側の市道白浜1号線から車は、進入できるのか？ 【事務局回答】 現段階では、歩行者のみと考えている。</p> <p>ウ) 【委員質問】 築後40年以上経過している既存体育館に耐震工事を施したが、今後どれくらい利用できるのか？ 【事務局回答】 今後20~30年程度は、利用可能と考えている。 【委員質問】 30年後、その体育館は閉鎖するのか？ 【事務局回答】 体育館だけ解体し、第3のホールを建設する方向になる。その時に、今提案があった荷物搬入の動線について対応ができる。 【委員意見】 30年後に予算の関係で、計画中止とならないようにしてほしい。 【委員意見】 体育館の有効利用や西側道路の拡幅について、委員に伝わらないまま提示されている。体育館は、今のまま利用すると思っていた。南小学校OBから多額の寄付を頂いて建物を復旧したが、果たして今のような説明で市民が体育館の有効利用を納得してもらえるのか？どのようなビジョンを持っているのかなど、行政が説明をする必要がある。</p> <p>エ) 【委員質問】 津波の想定だが、テレビで3.19mと聞いたが心配ないのか？ 【事務局回答】 体育館と床レベルを合わせるため、地上げについては検討していない。</p> | | | |

- オ) 【委員質問】
車いすの駐車場を、どう考えているのか？
【設計者回答】
建物の南側にバス停（想定）まで伸びる庇を設置したいと考えている。そこから、雨に濡れずにロビーへ来れるように計画しているので、車いすの駐車場は、その辺りに配置する。
【委員意見】
駐車場の屋根だが福祉車両には、いろいろな降り方がある。特にリフトなどがあると、7～8m程度のスペースが必要になるので考慮願いたい。
【事務局回答】
考慮する。
- カ) 【委員質問】
市道七間橋中央線だが、幅員を広げるのか？
【事務局回答】
VICの交差点から進入口まで、幅員14mで開館までに整備する。それ以降の進入口から宇賀金物店交差点までは、次の段階で整備する。
【委員質問】
大型トラックは、進入できるのか？
【事務局回答】
交差点の隅切りを大きくとるので問題ない。
【委員質問】
北側入口が狭いが拡幅するのか？
【事務局回答】
歩道と右折レーンを設けて、14mに広げる予定である。
【委員質問】
渋滞は、心配ないのか？
【事務局回答】
現状でも渋滞はある。新市民会館でも、少なからず渋滞は発生する。

②大ホール舞台施設についての意見

- キ) 【委員質問】
高校のブラスバンド部が、定期演奏会を開催している。指導の先生やOBからは、今の大きさは確保してほしい、と要望を受けている。想定ではどれくらいか？
【設計者回答】
現状より少し大きめの舞台になる。

③大ホール規模・客席施設についての意見

- ク) 【委員質問】
車いす席の席数は、決まっているのか？
【事務局回答】
まだ未定である。
- ケ) 【委員質問】
客席については、ゆとりのある客席になるのか？
【事務局回答】
ゆとりのある客席にする。
- コ) 【事務局意見】
規模だが、補助席や立見席を整備すると、最大1,400人以上収容することも可能である。まだ検討段階であるため固定席数1,200席で表現した。
- サ) 【委員質問】
前席の客席を取り外し、そこを車いす席にすることも可能か？
【設計者回答】
調整は可能である。
- シ) 【委員意見】
親子席だが十分な広さを確保してほしい。
【設計者回答】
今回提案している親子席付近は、映写室などもあり十分な広さを確保するには厳しい所でもある。2階などに配置が可能か、検討する余地はある。

④大ホール舞台付属施設についての意見

サ) 【委員意見】
特に問題は無い。

⑤小ホールについての意見

シ) 【委員意見A】

今の市民会館で、利用率が高いのは中ホールである。いろいろな方に意見を聞いたが、小ホール300席では厳しい。講演会などを開催するには、400席程度は必要である。専門的な音楽ホールと聞いているが、多目的に使えるホールにしてほしい。400席の小ホールを提案する。

前回の会議で400人規模なら、大ホールを利用する方法があると聞いたが、それは無理である。市民が利用するホールだから、みんなが使えるホールにしてほしい。専門的な音楽ホールになると、講演会などは、どこを利用すればいいか市民から意見が出ると思う。

【設計者意見】

講演には、十分対応している。小ホールは、事例から300席プラス α の実例が多い、400席となると、人を集めるのは大変である。市民レベルの発表会には、非常に使いづらいと思う。そのあたりの議論が必要ではないか？

【委員意見A】

やはり多目的に使えるホールが必要である。利用率の高い、中ホールが現在あるからこそ、その辺りを良く考えていただきたい。

【委員意見B】

現在の中ホールは、平土間であり講堂である。必然と使用頻度は高くなる。委員Aが言うように、公的な研修会、大規模な講習会にも利用でき、商業関係の展示会も中ホールで対応が可能である。

新市民会館には、現在の中ホール的な施設も必要である。そして、音楽ホールも造りたい要望がある。その両立を考えて頭を悩ましていた。そんな中で、体育館を有効利用する説明があり、私は混乱している。

【委員意見C】

400人クラスの講演会を、体育館で利用するわけにはいかないか？

【委員意見A】

小ホール300席を音楽ホールとして建設し、講演会は体育館で行うというのは、市民感情としてクリアできないのではないか？小ホールは、400席必要である。

【委員意見D】

今現在の中ホールは、300席ぐらいでないか？

【事務局回答】

3人掛けの机と椅子を並べると270席である。通常は、ほぼ現状で足りている。

【設計者意見】

400席にすると、200席で利用している人には使いづらい施設になる。

【委員意見E】

多目的の意味だが演劇なのか？

【委員意見A】

演劇も必要である。委員Bや委員Eが言うように、音楽ホールが必要なのは十分に理解できるが、市民全体の要望に添えていくには、市民が使いやすい施設にするべきである。

【委員意見F】

講演が出来たらいいのではないか？演劇をする利用者など、今まで、ほとんどいなかった。

【設計者意見】

ホールの座席の在り方として、小ホールを平土間にするか段床を造るかが大きな分かれ道である。席数の議論が先ほどからあるが、平土間より固定席で整備する方が利用しやすいホールになると思う。

音楽や講演会は、同じタイプのホールで利用できる。しかし、多目的ホールとなればフライタワーを整備し、吊物バトンが出るようなホールになる。

今、委員の話を書く限り、袖幕やフライタワーは必要ないと感じているので、我々は、スクリーンへの投影やスピーチがしやすいホールにすることを、十分に考慮していく。

【委員意見G】

席数を100席だけ増やせばよい。面積に影響はあるのか？

【設計者意見】

面積に影響はするが、講演会開催時、舞台の一部を客席に変えることで、面積を増やさず席数を確保することも可能ではある。

プロポーザルでの市の要件が当初から300席であったため、現在の提案になっている。今後出来るだけ400席に近づけた方が良ければ再検討する。

予定時間過ぎたため審議を次回に繰り越し

(3)その他

ア) 事務局より次回開催の案内

イ) 9月25日(火)文教民生委員会視察報告会について委員に説明

ウ) 報道関係者の委員会傍聴について

報道関係者の委員会傍聴は不可とした

(理由)

○委員会の総意の意見として発表されるのは良いが、審議途中の委員個人の意見が、委員会の総意の意見であるかのような意見として、市民に誤解を招く恐れがある。

○発言しづらくなる可能性がある。

4 閉会

副委員長あいさつ